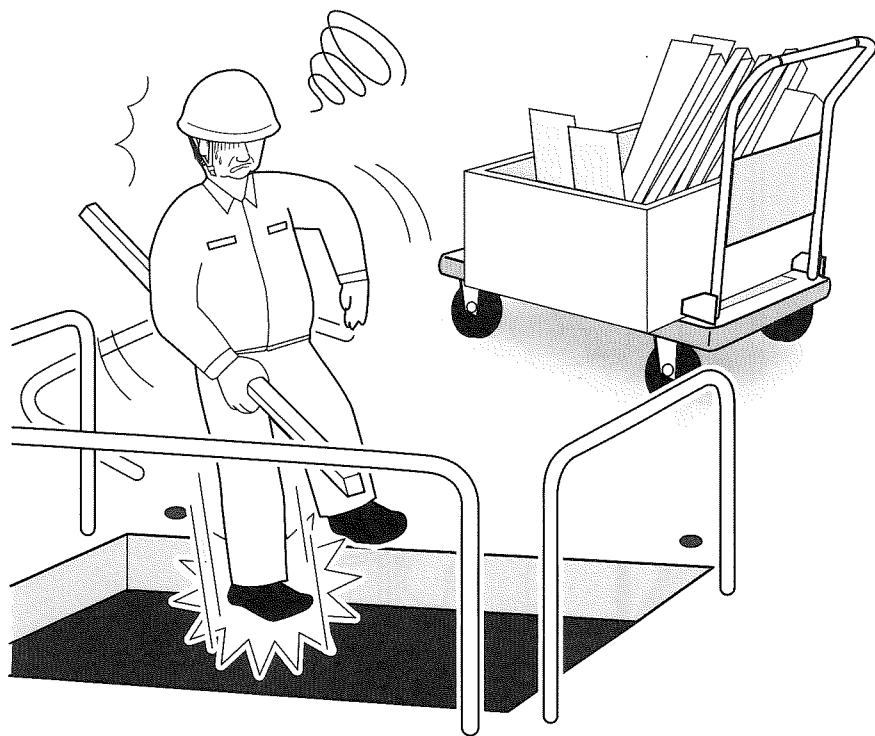


# めまいがして開口部から墜落

## 開口部の手すりが外されたままだった



《災害のあらまし》工場2階の製品発送職場で終業時刻近く、作業員(男性・60歳)が、2階床の開口部から荷造り廃材等を2・8m下の廃材集積場に投げ下ろしていた際、開口部から墜落し腰部骨折等の重傷を負ったものです。

### 《災害の主な原因》

① 開口部の手すりが外されたままだったこと。  
② 手すりが外されたままの状態での廃材の投下作業を行ったこと。

③ 台車に積んで運んできた廃材を、腰をかかめて持ち上げ、体を回して開口部から投げ下ろす連続動作で、体のバランスを崩してよろけて墜落したこと。

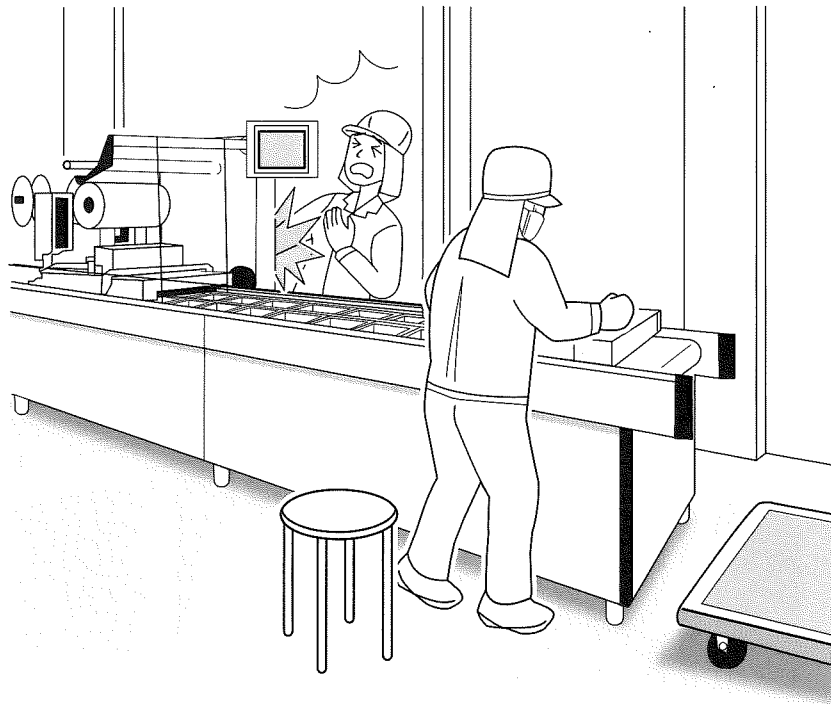
④ 被災者は口頃から貧血気味で、当日も終業間近で疲れがたまり、めまいを起こしたと思われること、など。

### 《同種災害の防止対策例》

- ① 高所から物を下ろす作業は、専用の設備を使用する等の改善措置を行う。
- ② 開口部の手すりの着脱はきちんと行うよう標示を行い、管理を徹底する。
- ③ 高齢者や体調が不良の作業員については、健康管理を勧め、作業の配置等の面でも配慮を行う。
- ④ 終業間際は急ぐ気持ちに疲労も重なって、注意力が散漫になりがち。監督者をはじめ皆で注意し合うなどを心掛ける、など。

# 機械の後ろで調整中、指を切断

機械の後ろに入ることは想定されていなかった



《災害のあらまし》工場の包装工程で女性パート作業員（42歳・経験5年）が、包装機械の具合が悪くなったので、点検・調整するため安全カバーのない機械の後ろ側に回って運転中の機械を調整中、シール部の刃で右手の第2・3指を切断しました。

## 《災害の主な原因》

①包装機械の調整を行う際に、機械の運転を止めなかったこと。  
②機械の裏側の安全カバーが外されたままになっていたこと。

③これまでも同様の状態で調整等が行われており、カバーが外されたままになっていたことを監督者等は気が付かなかったこと。

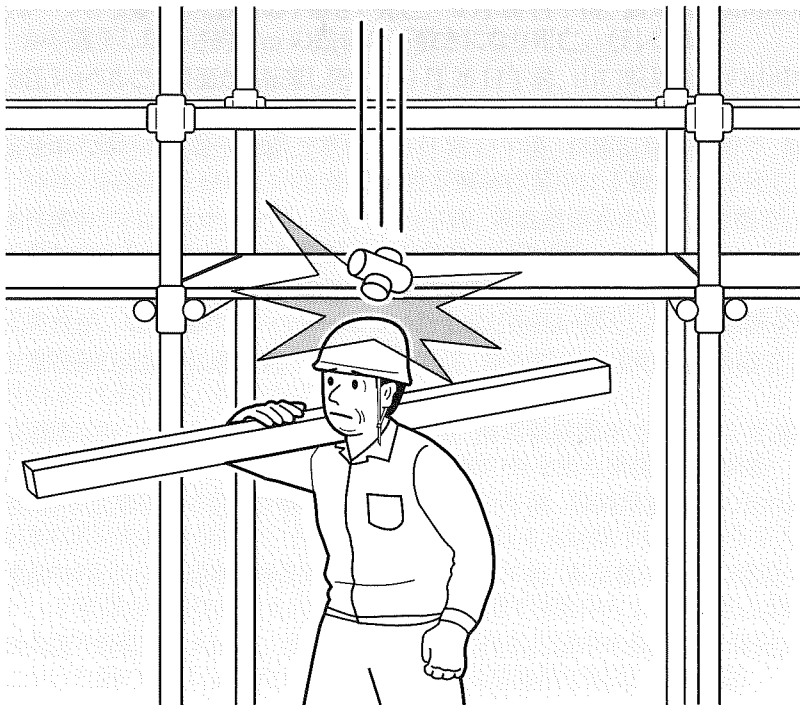
④当該機械の調整方法等に関する作業手順が定められておらず、また、パート作業員に対して安全教育も行われていなかったこと、など。

## 《同種災害の防止対策例》

- ①機械の点検・調整等を行う際は、電源を切り運転を停止してから行うよう作業規定並びに作業手順書を作成して教育し周知徹底を図る。
- ②機械の裏側であっても、人が立ち入って挟まれる等の危険が予測される箇所の安全カバーは正しく設置する。
- ③パートタイム等の作業員に対して、安全衛生教育を実施するとともに、KYT等の日常の安全活動にも積極的に参加・参画させ、安全意识と安全行動の向上を図る、など。

# 高所から金属部品が落下してきて頭部重傷

## 保護帽の管理が不良で帽体が破損



《災害のあらまし》建築工事現場の1階で、建築材料を運搬していた下請けの工事業者（男性55歳・経験25年）の保護帽（樹脂繊維製ヘルメット）に、高さ約10mの工事箇所から金属部品（500g）が落下してきて激突し、衝撃で帽体が破損して頭に打撲傷を負い、直ちに脳外科の病院で治療を受け、5日間の入院になりました。

### 《災害の主な原因》

- ① 高所からの物品の飛来・落下防止措置が適切に行われていなかったこと。
- ② 高所作業現場の下方に立ち入り禁止措置が実施されておらず、作業者は自由に下方を通行していたこと。
- ③ 被災者の保護帽が耐用年数（5年）を大幅に超えており、また、帽体の内装ハンモックが破損していたこと。
- ④ 保護帽の点検・保守等の規定がなく、教育等も実施されていなかったこと、など。

### 《同種災害の防止対策例》

- ① 高所作業箇所からの物品等の飛来・落下防止対策を徹底するとともに、下方への立ち入り禁止措置を実施する。
- ② 保護帽の耐用年数並びに保守・点検等について基準を定め、安全な被り方を教育して順守させる。
- ③ 作業前に作業服装と併せて保護帽の点検を実施し、正しい被り方を習得させて習慣化する、など。

事故・災害事例から

# 労働災害速報

 (最近の新聞等から)

- ・サファリパークでライオンに襲われ死亡。9月28日午後、福島県二本松市のサファリパークで、50代男性の飼育員がライオンを檻に収容するために誘導していたところ、ライオンに襲われて死亡。(共同通信)
- ・自動車整備店で車の下敷きになり死亡。9月27日夜、兵庫県神戸市の自動車整備店で、50代男性の店主が乗用車の底部に潜り込んで作業をしていた際に、ジャッキが外れ車の下敷きになって死亡。(神戸新聞)
- ・キノコ工場でハシゴから落下し重体。9月27日朝、新潟県十日町市のキノコ工場で、機械のメンテナンスのために備え付けのハシゴに登って作業をしていた40代男性職員が、約5mの高さから落下し意識不明の重体。(新潟日報)
- ・クレーンから落下した鉄骨の下敷きで死亡。9月26日午後、高知県高知市の造船工場で、40代男性作業員がクレーンから落下した長さ約9mの鉄骨の下敷きになり死亡。(テレビ高知)
- ・油圧ショベルごと斜面から転落し死亡。9月26日午前、山口県周南市の山中で、山際の切り株を取り除く作業をしていた50代男性作業員が、操作していた油圧ショベルごと高さ約50mの斜面から転落して死亡。(中国新聞)
- ・解体中の神社の社殿が倒壊して死亡。9月25日午後、兵庫県加古川市で、解体作業中の神社の社殿が倒壊、元大工で神社の宮総代を務めていた60代男性が解体作業中に下敷きになり死亡。(産経新聞)
- ・農作業中クマに襲われてケガ。9月25日午後、青森県黒石市のリンゴ畑で、60代女性2人が農作業の休憩中にクマに襲われて右手指の骨折や裂傷などのケガ。(東奥日報)
- ・収穫機に右腕を巻き込まれて死亡。9月23日午後、鹿児島県志布志市の畑で、サツマイモの収穫作業をしていた70代男性が、収穫機のコンベヤーについた土などを払い落とす際に右腕を巻き込まれて死亡。(南日本新聞)
- ・変電設備の点検中に感電死。9月22日午前、群馬県東吾妻町の養豚場で、変電設備の点検をしていた電力会社社員の40代男性が、作業中に感電して死亡。(上毛新聞)
- ・交通誘導中にはねられ重傷。9月20日午前、群馬県前橋市で、片側交互通行となっていた県道で交通誘導をしていた70代男性警備員が車にはねられ、頭や顎の骨を折る重傷。(上毛新聞)
- ・治山ダム工事現場で足場が崩れ転落。9月19日午前、静岡県静岡市の治山ダム工事現場で、地上約7mの高さまで組まれていた足場が崩れ、作業中の男性作業員4人が落下して、うち1人が重傷。(静岡新聞)
- ・建設中のビル工事現場で鉄骨が落下。9月19日午前、東京都中央区の建設中のビル工事現場で、ビルの梁の鉄骨が落下し、7階部分から作業員4人が3階に転落、3階で作業中の1人が巻き込まれ、2人死亡、1人重体。他もケガ。(時事通信)
- ・焼肉店で爆発、2人けが。9月18日夜、愛知県名古屋市の焼肉店で爆発が発生し、20代男性店員2人がけが。火にかけた鍋の近くにあったカセットボンベが異常加熱で破裂。(産経新聞)
- ・コンサート会場解体中に鉄骨が落下し重軽傷。9月18日夜半過ぎ、福岡県福岡市で、大型コンサート会場の解体作業中にワイヤーで吊るした鉄骨が落下し、作業員2人が下敷きになるなどして重傷、他に5人がケガ。(毎日新聞)
- ・コンテナが誤落下しクレーン操縦者が転落、死亡。9月16日午後、埼玉県三郷市の産廃処理場で、クレーン車でコンテナ積載作業をしていた40代男性作業員が、コンテナが誤落下した反動で車内で体を強打、地面に落下して死亡。(埼玉新聞)
- ・清掃作業中、機械に体を挟まれ死亡。9月16日午前、福島県田村市の工場で、プラスチック製造機械の清掃作業をしていた40代男性作業員が、重さで自然に動き出した機械に上半身を挟まれて死亡。(福島民友新聞)
- ・マンション改修現場で足場設置中に転落。9月14日午前、広島県広島市のマンション改修工事現場で、立体駐車場で外壁塗装のため足場を設置していた20代男性作業員が約10m下に転落し、骨折の重傷。(中国放送)
- ・造船所で船が転覆、2人死亡。9月11日正午頃、広島県大崎上島町の造船所で、クレーン台船を係留する作業をしていた汽船が浸水し転覆。船に乗って作業をしていた50代男性2人が死亡。(産経新聞)
- ・台風被害確認中に屋上から転落、死亡。9月8日午後、千葉県大多喜町にある警察関連施設で、台風13号による施設の被害状況を確認していた40代男性職員が、高さ約5mの屋上から転落して死亡。(毎日新聞)
- ・ローラー機械に挟まれ作業員死亡。9月6日午前、滋賀県彦根市の布シート製造工場で、ローラー機械でシートを送る作業をしていた60代男性作業員が、機械に挟まれて死亡。(京都新聞)
- ・除草作業中に橋から転落し重傷。9月4日深夜、群馬県桐生市の鉄道の駅付近で除草作業をしていた60代アルバイト男性が、橋梁から6.5m下の用水路に転落、頭の骨を折るなどの重傷。(上毛新聞)
- ・工事現場の2階から転落して死亡。9月2日午前、茨城県五霞町の塗装会社の建物増築工事現場で、電気工事に来た50代男性作業員が、建物2階の床に設置した段ボールを踏み抜き1階に転落して死亡。(茨城新聞)
- ・解体中のビルが倒れ、重機操縦の作業員が重傷。8月31日午前、兵庫県神戸市の工事現場で、解体中のビルが崩れ、パワーショベルを操縦していた20代男性作業員に崩れたコンクリートなどが当たって重傷。(神戸新聞)
- ・崩れた土砂に埋まって作業員死亡。8月28日午後、鹿児島県霧島市の山中で、ソーラーパネル設置の造成のためショベルカーで高さ10m以上の土砂をダンプカーに移していた60代作業員が、崩れた土砂の下敷きになり死亡。(南日本新聞)